

# 1 1 学校研究について

## 1. 研究主題

自ら学び、表現しようとする子の育成  
～「わかる・できる」授業を積み重ねながら～

## 2. 主題設定の理由

本校では、昨年度より、算数科に研究を変更し、研究主題を「自ら学び、表現しようとする子の育成」、副題を『一人ひとりが、「わかる」「できる」喜びにあふれる授業をめざして』として、授業改善に取り組んだ。教師が毎月一回授業振り返りシートを活用し、自分の日々の授業を振り返ったり、研究授業を通して、P（学習指導案の検討会）、D（研究授業）、C（授業整理会）、A（日常の授業）サイクルを継続したりして学校全体の授業力の向上を目指し研究を続けてきた。

授業のねらいを達成することを意識した授業研究により、適用問題を自力解決できる児童が多くなった。また、教師の問い返しによって、考えの根拠や筋道を言葉で表現できる児童も増えてきた。しかし、依然として全国学力調査の問題では、記述式の問題の正答率が低く、無解答に近いものも多い。これらのことから、本校の児童は、数学的に思考判断したことを、文章や式、図、表などで表現する力（「かく力」）が十分でないと思われる。そこで今年度は言葉による表現だけでなく、「かく場面」を設定したり、「かく手段」を指導したりしながら、「かいて表現する」ことにも力を入れたい。数学的に思考・判断しながら「かく場」を設定することで、自ら解決する力を高め理解につながるであろうと考える。また、聴いている人が分かりやすいように表現方法を工夫することで、友達同士の「考え方を学び合える力」の育成にもつなげていきたい。

## 3. めざす児童像

- ・主体的に学習に取り組む子
- ・数学的に思考判断し、表現しようとする子
- ・基礎・基本を身につけている子

## 4. 研究の取り組み

### （1）授業研究

#### ①問い？を持たせる課題の提示

- ・学習意欲を高める導入
- ・ゴールの具体的な姿を想定した課題設定
- ・課題解決のための見通しの持たせ方の工夫

②考えを広げ深める，対話的な学び合いの充実

- ・自分の考えの根拠や筋道を表現する場の設定
- ・多面的な思考を促す学習形態や学習方法の工夫（ペア・グループ，ICTの活用）
- ・児童の思考を広げ深める問い返しや価値付け

③「わかった」「できた」「次はこれをやってみたい」と実感できる活動の充実

- ・ねらいと実態に合った適用問題の設定
- ・自己の変容や達成感の自覚化，次の課題への意欲化へつながるふり返り

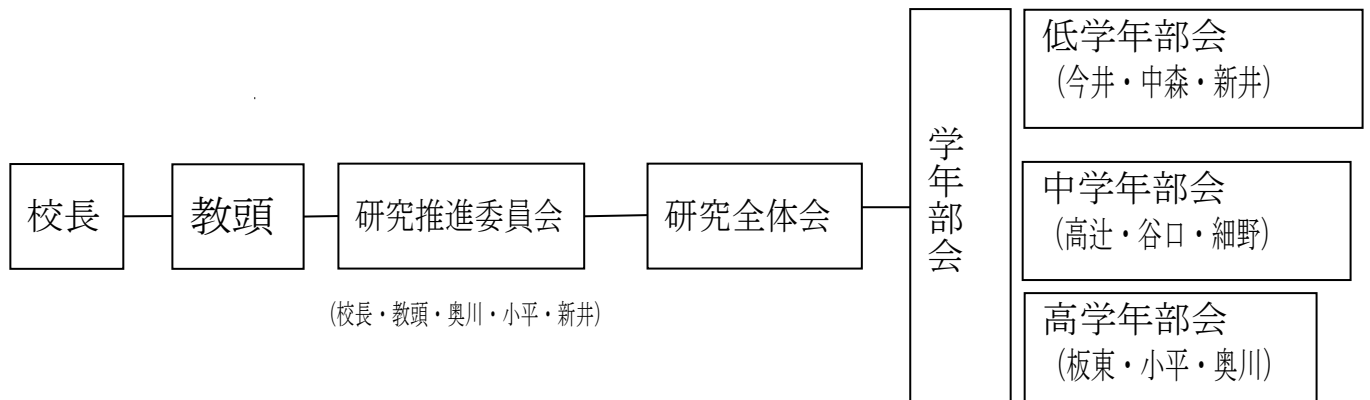
(2) 組織的・継続的な研究推進の工夫

①「めざす授業」のイメージ化

- ・授業の視点を明確にした授業参観シート，授業振り返りシート
- ・指導者と児童のめざす授業の共有化
- ・校内研修，校外研修の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり

②学力づくり部だよりの発行

5. 研究組織



- ・低・中・高学年部会で授業研究（指導案検討）⇒全体会⇒模擬授業⇒研究授業（整理会）

6. 研究の検証

(1) 指導者

授業振り返りシート，教職員アンケートをもとに振り返る。

(2) 児童

学期末テストやノートを用いて，児童の理解度をはかる。

7. 研究構想図

《学校教育目標》  
『一人ひとりが輝く河南っ子』の育成

- ～めざす児童の姿～
- ① 主体的に学習に取り組む子
  - ② 数学的に思考判断し、表現しようとする子
  - ③ 基礎・基本を身につけている子

研究主題 自ら学び、表現しようとする子の育成  
～「わかる・できる」授業を積み重ねながら～

- ～組織的・継続的な研究推進の工夫～
- ① 「めざす授業」のイメージ化
    - ・授業の視点を明確にした授業参観シート、授業振り返りシートの活用
    - ・指導者と児童のめざす授業の共有化
    - ・校内研修、校外研修の充実
    - ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり
  - ② 学力づくり部だよりの発行

授業研究の三本柱

課題の工夫	学び合いの充実	振り返りの充実
問い？を持たせる 課題の提示 【学び12+②】	考えを広げ深める 対話的な学び合いの充実 【学び12+①③④】	「わかった」「できた」「次はこれをやってみたい」等 と実感できる活動の充実
☆学習意欲を高める導入 ☆ゴールの具体的な姿を想定した課題設定 ☆見通しの持たせ方の工夫	☆「聴く力」「話す力」「かく力」を高める工夫 ☆多面的な思考を促す学習形態や学習方法の工夫 ☆児童の思考を広げ、深める問い返しや価値付け	☆ねらいと実態に合った適用問題の工夫 ☆自己の変容や達成感の自覚化、次の課題への意欲化につながる振り返り

生徒指導の三機能が生きている学級づくり

- ～自己存在感のある学級～  
自己肯定感の育成
- ～共感的理解のある学級～  
仲間を尊重する力の育成
- ～自己決定のできる学級～  
自律・自立の力の育成